

元気なまちかど

No.1 心豊かな生活を送るために ゆうゆう甲賀塾

ゆうゆう甲賀クラブが主催する「ゆうゆう甲賀塾」が7月13日、サントピア水口で開催され、約1000人が受講しました。この講座は学習を通じて高齢者が生き方の創造と心豊かな生活を送ることを目的に平成22年から始まり、今年6講座が予定されています。

第1回の講師としてこの日、中嶋市長が開講の祝辞と共に「次代への宝づくり」と題した講演を行い、市民皆さんが生き生きと幸せに暮らせるまちづくりへの取り組みについて話しました。

その後、市長の長寿福祉課の職員から、「地域包括ケアシステムの話もあり、受講者はメモをとりながら熱心に聞き入っていました。」



▲第1回講座の講演をする中嶋市長

No.2 地域の特産品づくりを体験 水口のかんぴょうづくり

みなくち自治振興会による水口特産のかんぴょうづくりが7月20日、水口中部コミュニティセンターで開催されました。かんぴょうの原料となるユウガオの実は、地元の方々が丹精こめて育てたものが用意され、機械を使って、厚さ2~3mmの帯状に剥かれた後、参加者らによって竹ざおにつるされました。

初めて参加した親子は、みずみずしい果肉の感触や香りを体感しながらかんぴょうづくりを楽しみました。

2日間乾燥させると、うま味が凝縮されたおいしいかんぴょうが出来上がります。



▲かんぴょう干しを体験する親子

No.3 自分や仲間の力を信じて 全国大会出場壮行会

スポーツ少年団等の全国大会出場壮行会が7月20日、甲南庁舎で行われました。この夏、全国大会に出場する小中学生は、19人です。壮行会では、選手一人ひとりから全国大会に挑む抱負が力強く述べられ、山本教育長からは「自分や仲間の力を信じ、臆することなく挑んでほしい」と激励の言葉が贈られました。



▶全国大会に出場する皆さん

- | | |
|---|---|
| 全国大会出場
●水口剣道スポーツ少年団 小学生団体の部
●甲南剣道スポーツ少年団 小学生団体の部・中学生団体の部 | ●甲賀テニススポーツ少年団 奥村麻友さん 渡辺さちさん
●甲賀JAC 谷 智也さん 男子80mハードル 田口美咲さん 女子80mハードル |
|---|---|

No.4 受け継がれてきた「けんか祭り」 大原祇園祭

大原祇園祭が7月23日から24日に、甲賀町の大鳥神社で行われました。この祭りの歴史は古く、集落や田から疫病などをはらう行事として地域の人々に受け継がれ、県の無形民俗文化財に指定されています。

23日の宵宮祭では、頭に灯笼をのせた氏子衆が各地域から集まり、それを境内で掛け声に合わせて激しくぶつけ合いました。

24日の本祭では、花がさに飾られた真っ赤な造花を奪い合う「花奪い」が行われました。花を奪おうとする人とそれを防ぐ人との壮絶な様子は「けんか祭り」という異名でも呼ばれています。この花は厄除けになるといわれ、家の軒先などに飾られます。



▲境内で激しく灯笼をぶつけ合う氏子衆



▲忍者と江州音頭を踊る参加者

No.5 火に感謝する伝統ある祭典 しがらきまつり

しがらきまつりが7月23日、新宮神社と愛宕山周辺で開催されました。

焼き物作りや生活に欠かせない火への感謝と安全、また信楽焼の振興を願って、江戸時代以前から受け継がれる伝統あるお祭りで、約600本もの松明が奉納されます。

松明の行列には、子どもから大人までが参加し、新宮神社から、提灯が並ぶ駅前通りをぬけて、愛宕山山頂の陶器神社に向けて約2キロを歩きました。

紫香楽太鼓「炎」の和太鼓が勇壮に響き渡る中、沿道の見物客は、赤々とした炎が連なる幻想的な光景に見入っていました。



▲愛宕山へ向かう松明の行列

No.6 忍者と一緒に江州音頭 甲賀夏まつり

甲賀夏まつりが7月30日、水口のJAこうか駐車場で行われ、大勢の人が訪れました。

忍者と一緒に踊る「忍者江州音頭」では黒や赤の衣装に身を包んだ甲賀忍者と老若男女の踊り手たちが、江州音頭を楽しみました。

「味まつり」コーナーにはたくさんの店が軒を連ね、ステージではエネルギッシュなダンスやお楽しみ抽選会などの催しが観客を楽しませました。

フィナーレの花火大会では、約1,500発の花火が打ち上げられ、甲賀の夏の夜空を彩りました。